

全日中事務局だより

本年度をもって御勇退される皆様、本会活動への御理解・御協力ありがとうございました。

第3回理事会情報交換の概要

1月25日の第3回理事会の後半全国を6地区に分かれて、主に「働き方改革について」情報交換を行い終了後、この報告を基に、文部科学省からも担当者に御参加いただきアドバイスをいただきました。

北海道・東北地区

◇スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員の導入、◇タイムカードによる時間管理、◇一斉退勤日、副校長、主幹教諭等人的な配置、◇夏休みの学校閉庁日を3日以上設定、◇転送電話サービスや夕方から朝まで留守番電話機能を利用、◇先生の意識改革が課題となっている。◇ボランティアの登録制で印刷業務、◇PTAの夜の会

議をなくし、先生が勤務時間外にならない取組している。◇部活動の朝練を禁止した、部活動の指導方針として年間105日の休養日をつくった。◇教育委員会のリーダーシップの下、学校も努力し、働き方改革を進めていけたらと思っている。

関東甲信越地区

◇月80時間以上時間外勤務の方は面談をする、◇学校リフレッシュデーは、午後6時には全員が退勤する、夏季休業中は、15分早く出勤した場合に15分早く退勤するところもある。◇長期休業中かかなりの市町で、8月13日～16日を閉庁日に設定している。◇教員の働き方改革を推進するため保護者や県民へ理解と協力を図る共同メッセージを出している。その文章では、「私たちは、『教員の子どもと向き合う時間』を確保していくことが、子供たち一人ひとりに対するきめ細かで柔軟な指導につながり、『生きる力』を着実

に育む学校教育に結びつくことを相互に理解・共有するとともに、その実現に向け、保護者や県民の御理解・御協力を得ながら連携・協働して、教員の働き方改革に向けた取組を推進・支援して参ります。」と、共同メッセージを出している県もある。

東海北陸地区

◇非常勤職員の活用、◇中1、中2、中3の定数の改善と学習モデルの基本を定め進めていく。◇若手の指導力、授業力を高めていくことが学力の向上につながる。今後、若者だけでなく教職員の指導力を充実させていくことが大切で、ガイドラインを作っている。◇ICTの活用の推進、◇少人数授業、習熟度別授業で子供たちの指導の徹底◇教育委員会の協力のため校長会が役割を担う。◇部活動は、平日52日程度休みを設定する。◇水曜日のノー残業デーを実施し、月に2回ほど定時退勤日をつくる。◇教員の意識改革を学校

としてはきちつと進めていくべきだ。
◇中体連の出場資格を変更し学校の部
活を地域スポーツクラブへの移管とい
う形で進める。◇ブラックなイメージ
を早く改革して、教員を希望する若い
子たちをたくさん集められるような改
革をしていく。

近畿地区

◇各自自治体が行っている働き方の具
体的な実践事例として、「先生の元気
が、子どもたちを元気にします！」と
いうことで、パンフレットやチラシを
つくって配布している。◇働き方改革
といって学校長が帰れ、帰れと言くと
教職員のモチベーションが下がって
いく。そういう何か矛盾する中での働き
方改革もいろいろなどころで見える。

中国・四国地区

◇スクール・サポート・スタッフの
活用、部活動指導員、それから研修会
の持ち方であるとかICTの活用、留
守番電話の活用、こういったものが具

体的に示された。◇学校給食とか副教
材費、市の行政担当が担って徴収ある
いは未納者への督促等を行っている。
◇子ども家庭支援センターであるとか、
あるいは鑑別所であるとかの連携
を進めて、担任の抱えている負担を質
量とも減らしていく。◇進路事務、入
試事務の軽減を図る。1点目は、入試
事務に関わる調査書を見直す。もう1
点は推薦入試を実施しない、やめると
いったようなことがあった。

九州地区

◇待遇改善意識改革については、80
時間を超える教員に対しては、管理職
を中心に指導されている。◇業務改善
については、社会問題として捉えない
といけないのではないか。そうであれ
ば、学校から発信するのではなく、市、
県あたりの行政サイドから地域、社
会、保護者に足並みをそろえて説明し
ていただくようなことが必要ではない
かなということが出された。◇待遇改

善というところでは、定数改善がぜひ
必要ではないか、あるいは教職調整額
の検討も必要ではないかというような
ことも出され、最終的にはマンパワー
のところに行き着くのかなという感じ
がしている。◇部活動を週3回休みに
すると、そういう学校に優先的に指導
員を配置する。あるいは助成をする
というニュースが出ていが、ちよつと気
になってる。背景に部活動の効果に
ついて考慮していただいているのだろ
うかというような、ちよつと問題視す
るようなことも出された。

会員計報

千葉県佐倉市立 白井中学校長
中臺信夫様 六十歳 一月十四日
鹿児島県鹿屋市立高隈中学校長
赤崎秀男様 五十六歳 二月二日

(事務局長 松澤 宏尚)